

平成28年度

主要事業説明書 特別会計事業説明書 公営企業会計事業説明書

市の木
ブナ



市の花
ハマナス



市の鳥
クマタカ

目 次

○主要事業説明書

1 支え合い安心して暮らせる思いやりのまちづくり	1
2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり	8
3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり	10
4 安全で快適な住みよいまちづくり	19
5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり	25
6 簡素で効率の良い行政経営	30
7 市民と行政の協働による行政経営	33

○特別会計事業説明書・公営企業会計事業説明書	36
------------------------	----

1 支え合い安心して暮らせる思いやりのまちづくり

市民が生きがいを持ち、健康で安心して暮らせる環境や子育てしやすい環境を整えるとともに、関係福祉団体や地域と連携した社会福祉事業を強化します。

◆ 人工透析治療に対する通院費負担の緩和	．．．．．	2
◆ 障がい者の自立支援を応援	．．．．．	2
◆ 新緊急通報システムの導入	．．．．．	3
◆ 地域互助の支え合いによる絆づくり	．．．．．	3
◆ 介護サービス事業所の拡充	．．．．．	4
◆ 山辺里保育園の増築	．．．．．	4
◆ 多子世帯を応援	．．．．．	5
◆ 子育て支援センター開設日の拡充	．．．．．	5
◆ 子どもたちの体力向上	．．．．．	6
◆ 病児保育施設の建設	．．．．．	6
◆ とともにめざす いのちを大切にする故郷を	．．．．．	7
◆ 生涯自分の歯でしっかり食べよう	．．．．．	7

新規

人工透析治療に対する通院費負担の緩和 4,848千円

腎臓機能障害者に対し通院費の一部を助成し、通院費の軽減を図る

①助成の対象となる方

- ⇒・身体障害者手帳の交付を受けた腎臓機能障害者
- ・人工透析等の治療のため、週2回以上の通院

②月額2,000円、4,000円、6,000円を助成

- ⇒自宅から通院している医療機関までの片道距離

0.3km以上10km未満	2,000円
10km以上20km未満	4,000円
20km以上	6,000円

通院費用の
軽減

新規

障がい者の自立支援を応援 2,012千円

地域活動支援センターの通所費を助成し、
精神障がい者の福祉増進に努める

①障害者手帳等の交付を受けている方が助成の対象

- ⇒・精神障害者保健福祉手帳
- ・自立支援医療受給者証(精神通院)
- ・療育手帳
- ・身体障害者手帳

②助成額

- ⇒・バス・電車を利用して通所 料金相当額
- ・自家用車等で通所 日額150円(2km以上)
日額250円(10km以上)
- ・施設の送迎サービスで通所 利用者負担額

③地域活動支援センター

- ⇒創作活動や生産活動、入浴、送迎、食事などを提供。

社会復帰の
支援

拡充

新緊急通報システムの導入

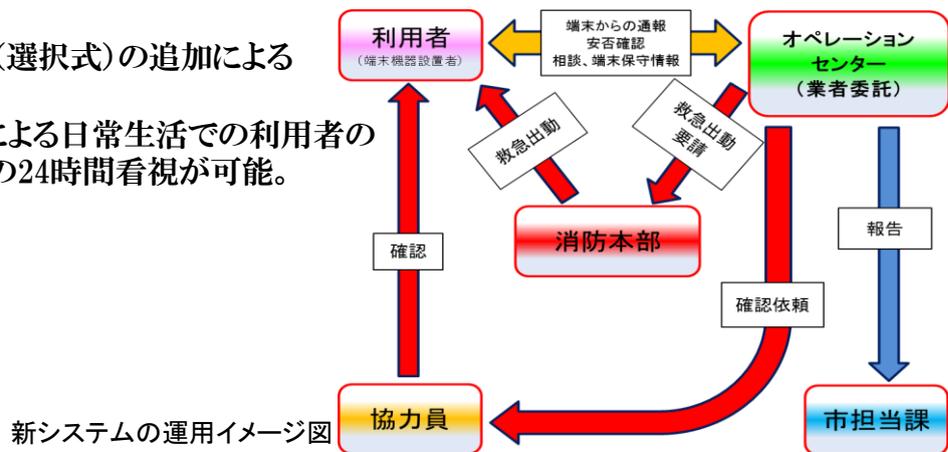
8,768千円

見守り機能の追加で高齢者の見守り体制の強化

高齢者の不安を解消し安全な暮らしを支える

①オペレーションセンターによる看視
⇒本人通報および異常信号受信により、救急要請や応急処置の指導、機器メンテナンス等の緊急通報装置の総括的運用が可能。

②機械的警備機能(選択式)の追加による見守り機能の向上
⇒人感センサー等による日常生活での利用者の異変の感知や火災の24時間看視が可能。



拡充

地域互助の支え合いによる絆づくり

1,200千円

地域住民で支え合う活動を広め、地域の一員であることの共通意識、絆づくりにつなげる

自発的な支え合い体制の構築

①地区住民への参加呼びかけ
⇒自発的な支え合いを地区住民に参加を呼びかけ、支え合い構成員を増強。

②支え合い組織により単身高齢者等を支援
⇒支え合い組織が単身高齢者等を訪問し、声掛けや簡単な支援により安否確認し、異変等に気付いた場合に市へ通報。

③活動の定着化のため構成員のスキルアップを図る
⇒訪問結果や運営方法などを検証し、持続性のある支え合い活動を推進する。



新規

介護サービス事業所の拡充

115,327千円

要介護者が有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう
介護サービス事業所を整備

①認知症高齢者グループホームの整備に対し補助金を交付
⇒認知症高齢者が共同で生活する事業所2か所(18室)の整備。

②看護小規模多機能型居宅介護事業所の
整備に対し補助金を交付
⇒登録した要介護者に対し、訪問看護・訪問介護・
通所介護・短期宿泊サービスを複合的に提供する
事業所1か所(登録定員29人)の整備。

住み慣れた
地域での暮ら
しを支える



新規

山辺里保育園の増築

73,030千円

保育室の増改築により、
特に増加傾向にある未満児の受入れに対応

①保育室の増改築
⇒保育室の増改築により0歳児及び1歳児の受入れを拡充。

②受入人数の増加
⇒100人の定員を120人に拡充。

乳児も安心して
預けられる



新規

多子世帯を応援

73,000千円

多子世帯の経済的負担を軽減し、
子どもを産み育てやすい環境を整備

①多子世帯(3人以上)の保育料軽減
⇒年齢に制限なく3人以上の子を現に養育している
場合は、第2子目の保育料は半額、第3子目以降の
保育料は無料とし、所得制限は設けない。

より子どもを産
み育てやすく



拡充

子育て支援センター開設日の拡充

713千円

子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援

①山辺里子育て支援センターの土曜日開設
⇒平成27年度の神林子育て支援センター土曜日
開設に引き続き、山辺里子育て支援センターも
10月から土曜日を開設する。

②子育て支援センター
⇒子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
子育て等に関する相談・援助
地域の子育て関連情報の提供
子育て及び子育て支援に関する講習
等を実施。

土曜日でも
親子で遊べる

子育て支援センターへ遊びに行こう



新規

子どもたちの体力向上

174 千円

保育園での日常の遊びの中に運動遊びを取り入れ、
子どもの体力低下を防ぐ

- ①体力・運動能力チェックの実施
⇒体力状況を数値化して、効果的な運動プログラムを展開。
- ②運動遊びの実施
⇒総合型地域スポーツクラブによる運動遊びを
保育士も体験し、各園の取り組みを広げていく。

子どもの
体力と運動能力
の向上



新規

病児保育施設の建設

56,580 千円

子どもが病気で仕事が休めないときに一時的に保育を実施

- ①病院併設型の病児保育室の建設
⇒県立坂町病院敷地内に病児保育施設を建設。
県立坂町病院小児科医と連携し、平成29年度から病児対
応型、病後児対応型の病児保育を実施予定。

仕事と子育ての
両立

※病児保育とは

病気や回復期などにある児童を、仕事などの都合によって
家庭で保育できない保護者に代わって、保育士と看護師が
医師と連携をはかりながら一時的に預かる保育のこと。



継続

ともにめざす いのちを大切に作る故郷を 1, 235 千円

自殺に対する市民の意識改革をはじめ、
ゲートキーパーの養成や関係機関との連携強化を図る

自殺者(未遂者)
の減少

- ①自殺予防フォーラムと講演会の開催
⇒9月の自殺対策推進月間に合わせて、市民を対象に自殺
予防フォーラムを開催また、各地区単位での講演会も開催。
- ②ゲートキーパー養成研修の実施
⇒自殺予防に関する知識や技術を
習得するための研修会を実施。
- ③積極的な普及啓発事業の実施
⇒◎9月・3月に各庁舎に自殺予防
メッセージ(懸垂幕)を掲示。
◎ボランティアの協力を得て街頭
キャンペーンを実施。



啓発用の上着でフォーラムを運営するスタッフ

拡充

生涯自分の歯でしっかり食べよう 10, 423 千円

きめ細やかな歯科保健指導や歯科健診などを実施し、
歯と口の健康づくりを図る

口腔内の
健康状態を
良好に保つ

- ①各種歯科健診やフッ化物洗口・塗布を実施
⇒成人・妊婦・幼児の無料歯科健診の実施や
保育園・小学校でのフッ化物洗口の実施。
また、幼児健診でのフッ化物塗布も実施。
- ②歯科保健指導等の実施
⇒幼児健診・保育園・小学校に加え、
新たに中学校においても市の
歯科衛生士による保健指導を展開。



市歯科衛生士による歯科保健指導

2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり

本市の恵まれた自然と景観を維持するために、環境問題に対応するさまざまな施策を推進していきます。また、環境に負荷のかからない循環型社会の実現を目指します。

- ◆ 地球に配慮した取組 9
- ◆ 岩船沖洋上風力発電の推進 9

継続

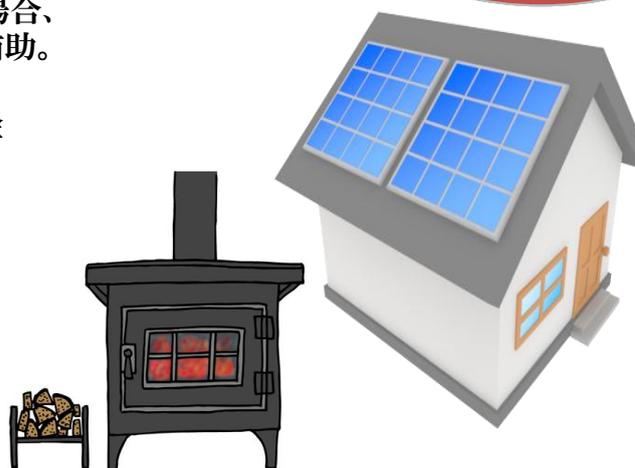
地球に配慮した取組

24,054千円

地球にやさしい新エネルギー導入時の応援

- ①住宅太陽光発電システム設置費補助金
⇒市内業者から購入、又は発注する場合、
1kw当たり10万円(上限40万円)を補助。
⇒市外業者から購入、又は発注する場合、
1kw当たり8万円(上限32万円)を補助。

- ②木質バイオマスストーブ設置費補助金
⇒木質ペレット・薪・製材端材を
燃料とするストーブで、購入及び
設置費用の総額が6万円以上の場合、
1/3(上限10万円)を補助。

地球温暖化
対策

継続

岩船沖洋上風力発電の推進

3,164千円

洋上風力発電実施地域のトップランナーを目指し、
地球温暖化の原因となるCO2の大幅削減に貢献

- ①日本初となる大規模洋上風力発電の実現を目指す
⇒事業性評価の判断がなされる平成28年度。
岩船沖洋上風力発電推進委員会において更なる協議を
継続。

低炭素社会の
実現

CGIによるイメージ画像

3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり

岩船産コシヒカリ、村上牛、越後杉や鮭などの農林水産資源を有効活用し、村上の魅力観光と一体となり発信することで、更なる村上ブランドの強化を図ります。

◆ 突然の自然災害に備える	11
◆ 農業担い手支援	11
◆ 村上市産の農林水産物を全国へ	12
◆ 農林水産物の情報発信手法の構築	12
◆ 農産物の生産安全管理の徹底	13
◆ 村上牛のおいしさを全国へ	13
◆ 林業の体験イベントの開催	14
◆ 漁業者の負担軽減による経営支援	14
◆ 堆朱のまち村上の再生	15
◆ 市内事業者への支援を強化	15
◆ 金融機関と連携した新たな創業支援	16
◆ 活力ある地域づくり	16
◆ ふるさと納税お礼品等を利用した特産品のPR	17
◆ 企業のインフラ環境整備の支援	17
◆ 村上市を売り込む	18
◆ 観光ホームページリニューアル	18

新規

突然の自然災害に備える

1,568千円

水稲共済品質方式への加入を促進することで、
農業者の経営の安定を図る

- ①水稲共済品質方式加入補助金
⇒市内の農業者・法人・集落営農等に対し、
水稲共済品質方式による掛金経費の2分の1以内を補助。

自然災害に
強い稲作経営



新規

農業担い手支援

3,000千円

新規就農者を支援し、地域農業の維持・継続を図る

- ①就農支援事業補助金(市単独事業)
⇒市内在住の新規就農希望者で原則
満61歳未満の方に1人年間100万円を
5年間支給。
- ②既存の国の補助制度(青年就農給付金)との比較
⇒年齢要件の緩和及び複合経営の要件をなくし、
就農のしやすさを図った。
※国の補助制度とは、
新規農業経営者で、複合経営をする満45歳未満の
方に1人年間150万円を5年間支給。
※複合経営とは、
例：稲作経営＋新たに野菜などの園芸作物を生産。

地域農業の
活性化



継 続

村上市産の農林水産物を全国へ

6,300 千円

首都圏を中心とした市外の取引先への流通・販路拡大の促進

①食材商談会の開催

⇒首都圏等を会場に市内農林水産業者・加工業者とその圏域飲食業者とのマッチングの場を提供。

②農林水産物・加工品流通促進事業補助金

⇒新規に販売先の拡大および生産物などの宣伝を行うための経費で、市内で生産された農林水産物または市内の農林水産物を使用して加工された食料品の原価および宅配費用に対して、補助(10万円以内)。

地場農林水産物の販路拡大、生産量増加



食材プレゼンテーション開催の様子

新 規

農林水産物の情報発信手法の構築

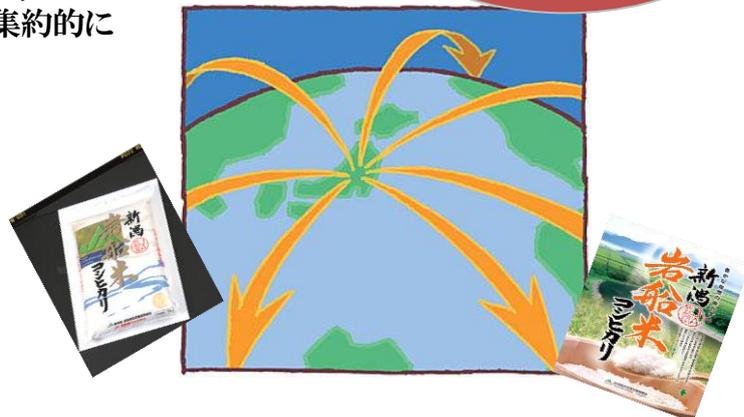
1,350 千円

市内農林水産物のブランド強化に向けた情報発信策の構築

①農林水産物ブランド発信負担金

⇒岩船米をはじめとした優れた農林水産物のブランド強化に向け、生産者・専門家等の意見を踏まえ市が持っている魅力を集約的に情報発信する方策を構築。

グローバルな情報発信



新規

農産物の生産安全管理の徹底

500 千円

GAP(※農業生産工程管理)認証取得の推進

①農業生産工程管理認証取得支援事業補助金
⇒市内の農業関係団体・農業者・法人・集落営農等において1認証取得に係る経費の2分の1以内、上限25万円を補助。

※農業生産工程管理

(GAP:Good Agricultural Practice)とは
農業生産活動を行う上で必要な関係
法令等の内容に則して定められる点検
項目に沿って、農業生産活動の各工程の
正確な実施、記録、点検及び評価を行う
ことによる持続的な改善活動のこと。



食の安心安全
を守る

新規

村上牛のおいしさを全国へ

40,000 千円

村上牛の認定率向上を支援

①村上牛認定向上対策事業補助金
⇒にいがた岩船農業協同組合・かみはやし
農業協同組合に対し村上牛認定に係る
経費を1頭につき3分の2以内、
上限10万円を補助。

村上牛の
生産振興



新規

林業の体験イベントの開催

800 千円

「林業の魅力」を実際に体験し、
若年新規就労希望者の拡大を図る

①林業チャレンジ体験イベントの開催
⇒H26年度から民間団体と協力し行っている
高校生向けのイベントを、管内在住者から
県下全域に拡大し実施。
「定住自立圏形成」のため、隣接する
地域と連携して取り組む。

②イベント内容
⇒林業の役割について(講義)
間伐・枝打ち等の保育施業体験
高性能林業機械の操作体験
宿泊先でのディスカッション

若手林業担い手
の確保



新規

漁業者の負担軽減による経営支援

369 千円

漁業者の資本装備の高度化と経営の近代化及び安定化を図る

①漁業近代化資金利子補給金
⇒漁業者等に漁業近代化資金を融資した
新潟県信用漁業協同組合連合会に対して
利子補給金を交付。
利子補給率は融資残高に対して
0.7パーセント以内。

漁業者の
担い手確保



新規

堆朱のまち村上の再生

7,500千円

村上木彫堆朱の産業の拡大と後継者育成

①「PR・販路拡大」「後継者育成」「原材料の確保」の3つをテーマに振興プランを策定
⇒堆朱業界にとって大きな課題になっている3つのテーマ(課題)について段階的に取り組む。

②官民協働による事業展開
⇒村上堆朱事業協同組合を中核とし、他の民間事業者、専門家及び市が協働で事業に取り組む。

③担い手の確保、産業としての拡大
⇒年々、業界が縮小傾向がある状況に歯止めをかけ、後継者の育成を図り、産業としての拡大を支援する。

伝統工芸の
課題を協働で
克服



新規

市内事業者への支援を強化

15,110千円

市内産業の活性化とにぎわい創出

①既存の補助事業の拡充、新規事業を加え制度を一新
⇒以下7メニューの産業支援プログラム事業補助金を交付。

- ・産業元気づくり事業補助金(製品開発)
- ・6次産業化チャレンジ事業補助金(製品開発)
- ・販路拡大きっかけづくり事業補助金(販路拡大)
- ・創業応援事業補助金(起業)
- ・人材育成サポート事業補助金(人材育成)
- ・まちなか景観魅力アップ事業補助金(商店街)
- ・観光イベント事業補助金(イベント)

②申請から交付まで短期間で行う
⇒補助事業が速やかに行えるよう審査委員会を廃止し、申請手続きを簡素化。

地域経済の
発展



補助金を活用したイベント事業

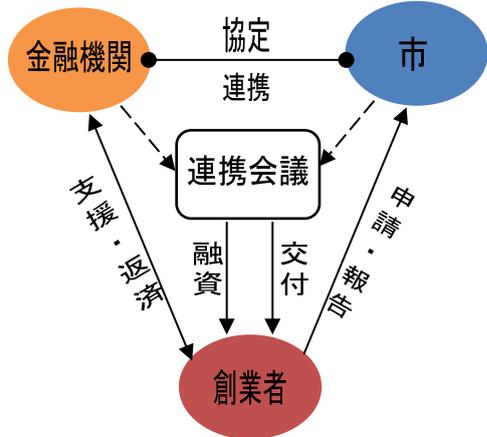
新規

金融機関と連携した新たな創業支援

10,000千円

地域に物や資金の循環を促進し、仕事をつくり、安定的な雇用の創出と継続

- ①雇用創出型創業チャレンジ事業交付金
⇒市内で創業する事業者等で、地域経済を活性化しながら新たな雇用を創出し、継続される事業に対して初期費用の一部を支援。
- ②協定金融機関との連携
⇒市と協定を締結した金融機関からの融資が条件であることから、協定金融機関と連携しながら、実現性の高い事業を支援。
- ③新規雇用者の人数に応じて必要額を交付
⇒新規雇用者が1名のときは200万円、2名以上のときは400万円を上限。
補助率は10分の10で、申請した年度のみ交付。



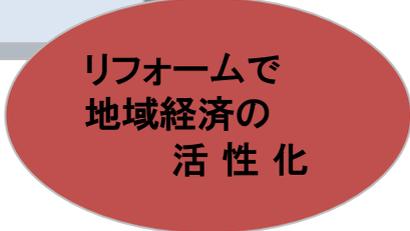
拡充

活力ある地域づくり

60,000千円

市民が快適に安心して暮らせる居住環境の向上

- ①住宅リフォーム事業補助金
⇒市内で居住している住宅(併用住宅の居住部分及びマンションの専有部分を含む)を対象に市内の事業者が行うリフォーム工事に対して補助金を支出。
補助率:補助対象経費の30%
上限額:20万円



拡充

ふるさと納税お礼品等を利用した特産品のPR 54,026千円

村上市の物産や観光などの魅力を全国にPR

①ふるさと村上応援寄附金により、ご寄附いただいた方に対するお礼品の送付

⇒村上牛、塩引き鮭、地酒、岩船産コシヒカリなどの様々な特産品を送付し、特産品のPRを行う。

②ふるさと納税フェアの開催

⇒東京日本橋のブリッジ新潟で、ふるさと納税のお礼品を中心とした物産展を開催し、村上市の魅力をPR。

③市外で観光物産展を開催

⇒JR駅を会場にした物産展を開催し、市の魅力をPR。



市の魅力をPR

新規

企業のインフラ環境整備の支援

2,936千円

浄化槽の設置費用を補助し、事業所の新設・増設を促進

①事業所等合併処理浄化槽設置事業補助金

⇒事業所等の設置に係る初期投資経費のうち、合併処理浄化槽の設置及び更新費用の一部を補助。

※補助率は、事業所等の新増設又は移設の場合は2分の1、既設事業所更新の場合は3分の1

※合併処理浄化槽の大きさによって上限額を設定

※公共下水道及び農業集落排水区域は対象外

事業拡大・進出の後押し



継続

村上市を売り込む

5,703千円

村上市の認知度アップに向けて各種のプロモーションを実施

① 駅弁開発及び首都圏での販売・PR
⇒ 市の食材を使った駅弁を新たに開発し、首都圏で販売。
販促キャンペーン等により市の食材及び観光の魅力をPR。

② 情報誌・宿泊予約サイトと提携したプロモーションの実施
⇒ 旅行情報誌で広告を掲載するほか、
宿泊予約サイトの特集ページに市の情報を
継続的に掲載し、メールマガジンと連動させながら
市内宿泊施設等への集客を強化。

③ 昨年度実施した新潟村上カフェのフォローアップ
⇒ 市の食材提供とPRを継続。

観光地への
誘客

さいたま市岩槻区での村上物産展の様子

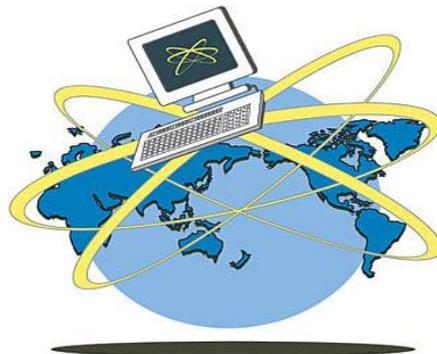
拡充

観光ホームページリニューアル

8,172千円

外国語観光情報発信による外国人観光客の誘客促進、
時代に対応したホームページの構築

① 観光情報戦略会議負担金(ホームページリニューアル)
⇒ 外国語表記やスマートフォンに対応した新たなホームページ
を構築し、国内外からの来訪者に観光情報を発信。

便利で
魅力的な
情報提供

4 安全で快適な住みよいまちづくり

日本海沿岸東北自動車道の全線開通に向けた取り組み、市道の整備等生活環境の向上を進めます。
また、防災、防犯に関する整備や生活環境の確保等を推進します。

◆ 路線バス運賃の学割継続	20
◆ まちなか循環バス車両購入(債務負担行為)	20
◆ 防犯灯のLED化の推進	21
◆ 夢結ぶ 地域おこしの日沿道	21
◆ 市道桃川牧目線道路改良の完了を目指す	22
◆ 豪雨でも安心して暮らせるまちに	22
◆ 歴史的風致維持向上計画の策定	23
◆ 消防団に広報指導分団を設置	23
◆ 消防車両の整備	24
◆ 地域防災力の向上を図ります	24

継続

路線バス運賃の学割継続

180,137[※]千円

路線バス運賃を半額にし、バスの利用率向上を図る

①学生バス利用者の負担軽減
⇒保護者の負担軽減と、学生がバス停や駅周辺に滞留することによる地域活性化の社会実験。

②学生証の提示で半額に
⇒市内・市外の中学生以上の学生が学生証の提示で、市内で利用した路線バス運賃が半額。
(定期代も同様。ただし高速バス、まちなか循環バス、せなみ巡回バスは除く)

※予算額は、生活交通確保対策補助金

家族の
負担軽減と
地域活性化



拡充

まちなか循環バス車両購入（債務負担行為）24,000千円

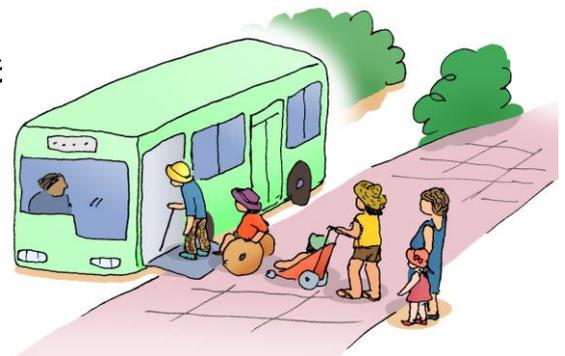
老朽化したまちなか循環バス車両を、高齢者利用に配慮した新車両に入れ替えることで利用者の増加を図る

①乗り降りしやすい低床バス
⇒低床バスを導入することで、高齢者の利用時の負担を軽減し、今までバス利用を敬遠してきた住民を誘引。

②村上の風情に合うバスの運行
⇒ラッピングを予定しているので観光地村上の風情を来訪者をはじめ、地元住民にもアピールする効果を期待。

③バス導入時期
⇒契約は平成28年度に行うが、バスの納車に26か月以上必要なため債務負担行為を計上。

循環バスで、
買い物・通院
も楽しく



継続

防犯灯のLED化の推進

35,000千円

維持管理コストの低減、温室効果ガスの排出量の削減

①LED灯に年間約800灯を交換予定
⇒年間約2,500件の防犯灯修繕のうち、
状況に応じ順次LED灯に切り替えを行う。

ランニングコストの低減と地球環境への配慮



LED防犯灯のイメージ図

継続

夢結ぶ 地域おこしの日沿道

41,680千円

全線開通後の利用者の利便性の向上、
村上市が単なる通過点とならないよう観光・交流人口の拡大を図る

①朝日まほろばICアクセス道路用地測量・物件調査
⇒朝日まほろばICランプと道の駅「朝日」(みどりの里)
を結ぶアクセス道路の整備。

②朝日温海道路IC周辺土地利用基本計画策定
⇒全線開通後の生活環境の向上、地域の
活性化に繋がるよう、道の駅朝日の拡充及び
山北地域の休憩施設等の導入機能や施設の
具体的な整備手法についての計画を策定。

日沿道を
有効活用した
地域活性化

継続

市道桃川牧目線道路改良の完了を目指す 80,500千円

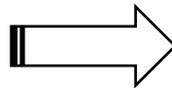
主要幹線道路の拡幅により、
交通の安全性向上と道路ネットワークの強化を図る

高速道路や
国道への
アクセス向上

①車道幅員の拡幅及び歩道改良
⇒高速道路・神林岩船港ICから国道345号間の
道路未改良区間解消。



拡幅前



拡幅後

継続

豪雨でも安心して暮らせるまちに 160,650千円

大雨時の道路及び住宅地の冠水を解消

浸水被害の
解消

①岩船備前屋排水路の整備
⇒既設排水路の流下能力不足を補うため、
当該区域の臨港道路内にボックスカルバートを新設する。



冠水状況



排水路新設

継続

歴史的風致維持向上計画の策定

23,802 千円

歴史まちづくり法(正式名称:地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律)に基づく、計画を策定(国へ申請)し、新潟県初の認定を目指す

歴史まちづくり
の推進

①歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認定を目指す
⇒国から計画の認定を受けることにより、重点区域に認定計画に基づく事業の支援を受けることができる。



新規

消防団に広報指導分団を設置

1,831 千円

女性を中心とした広報指導分団を設置し、女性の参加を促進

地域防災力の
強化を図る

①広報・予防活動
⇒ショッピングセンター等での火災予防PR、保育園や幼稚園での防火教室の実施。

②指導・普及活動
⇒応急手当法の習得と市民への普及活動の実施。



継続

消防車両の整備

74,843 千円

老朽化した消防車両を更新し、消防力の維持向上を図る

消防力の
さらなる向上

①消防ポンプ自動車の更新

⇒圧縮空気泡消火装置と600リットル以上の水槽を装備。
配管や水槽は防錆効果のある素材を採用して耐久性の
向上を図るなど最新鋭装備の災害対応特殊消防ポンプ車。

②支援車の更新

⇒多様な災害に対応すべく状況により
資機材を積み替えて搬送可能な
災害活動の後方支援に特化した車両。



様々な災害に対応する消防車両

③指揮支援車の更新

⇒各種通信装置等を装備し指揮支援に
特化した車両。

拡充

地域防災力の向上を図ります

4,010 千円

防災士のスキルアップや津波避難路の整備により
防災力を向上させる地域住民の
安心安全な
暮らし

①防災士スキルアップ研修

⇒市が養成した防災士がそれぞれの地域で活躍できるよう、
防災に関するスキルの向上を目指すため、防災のスペシャリ
ストを招き、最新の防災知識や地域住民と共にできる訓練方
法などを学ぶ研修会を開催。

②避難路の補修、階段・手摺の設置等

⇒津波浸水想定区域の住民が急峻な場所にある
避難場所へ円滑な避難ができるよう、避難路の
補修や階段・手摺を設置。



防災士スキルアップ研修の様子

5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり

故郷での暮らしに自信と誇りを持てる子どもたちの育成を図るとともに、学校、家庭、地域を結ぶ「郷育会議」を中心とした地域全体の教育力と学力の向上を図ります。
また、生涯学習体制を整備し、社会教育活動、文化芸術活動、スポーツ活動を推進します。

◆ 奨学金の貸与	．．．．．	26
◆ 非常勤講師(教育補助員等)の配置	．．．．．	26
◆ 社会のグローバル化への対応	．．．．．	27
◆ 地域と連携した子どもの居場所づくり	．．．．．	27
◆ 伝統行事、伝統芸能の振興	．．．．．	28
◆ 教育情報センターの空調設備改修	．．．．．	28
◆ 生涯学習推進センターの駐車場拡張	．．．．．	29
◆ 体育施設のリニューアルに向けて	．．．．．	29

継 続

奨学金の貸与

134,760 千円

学業成績優良で経済的理由により修学困難な方に奨学金を貸与

①貸与月額

⇒7万円・5万円・3万円

本人の希望や家庭の事情等を勘案して決定。

②貸与期間

⇒貸与決定の月から在学校の最短修業年限の終期まで。

③返還等

⇒貸与終了後1年を経過後から10年を超えない範囲で全額を均等月賦で返還(無利子)。

経済的負担の
軽 減

拡 充

非常勤講師(教育補助員等)の配置

86,014 千円

個人の能力に応じたきめ細やかな指導で学力向上を図る

①非常勤講師(教育補助員等)の配置

⇒小学校非常勤講師 20人

中学校非常勤講師 15人

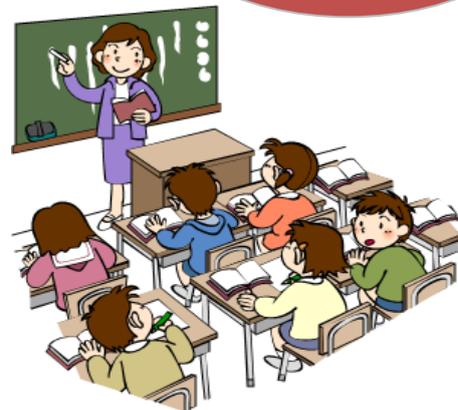
②非常勤講師(教育補助員等)の職務内容

⇒TT(複数の教師が協力して行う)授業の指導補助

少人数学習の指導補助

特別活動、総合学習、道徳等の授業の指導補助

放課後等を実施する補充学習の指導

きめ細やかな
指導で
学力アップ

新規

社会のグローバル化への対応

1,370千円

将来を担う中学生の英語力の向上を図る

①英語検定料補助金

⇒在籍校(準会場)で実施する、公益財団法人日本英語検定協会の実用英語技能検定4級以上の検定料を補助。

②年度内に一人1回の交付

⇒市立中学校生徒が対象。

学習意欲の
向上

拡充

地域と連携した子どもの居場所づくり

2,048千円

放課後や週末に地域の支援者などの協力を得て実施し、体験活動を通じて安全で健やかな子どもの居場所づくりに努める

①6校から8校へ拡充

⇒村上小学校、村上南小学校、瀬波小学校、保内小学校、金屋小学校、さんぼく南小学校で実施していたが、岩船小学校、さんぼく北小学校でも実施する。

②地域のみなさんの支えで

⇒PTA、育成会、老人クラブ、退職公務員連盟、体育協会、趣味サークルの会等や地域のみなさんにご協力をお願いしボランティアの確保に努める。

子どもの
健全育成

絵本のよみきかせの時間

新規
拡充

伝統行事、伝統芸能の振興

1,128 千円

まつり行事の伝承と後継者の育成、地域の伝統芸能の伝承

①(仮)村上まつりシンポジウムの開催[新規]
⇒市民を対象に村上まつり無形民俗文化財調査の成果報告とパネルディスカッションを行い、まつり行事の普及啓発を図り今後の伝承について考える。

②第30回記念大須戸能 薪能[拡充]
⇒例年8月15日お盆の恒例行事として、朝日みどりの里日本庭園で実施しているが、今年は30回記念として鶴岡市黒川能の特別出演を予定している。



・伝統行事の
普及啓発
・伝統芸能の
発 展

新 規

教育情報センターの空調設備改修

300,770 千円

施設維持管理のため、老朽化した空調設備の更新を行う

①空調機器設備、換気設備等の更新
⇒図書館、視聴覚ホール系統の冷温水発生機、クーリングタワー、冷却水ポンプ、換気用送風機等を更新。

②太陽光パネルの設置
⇒自然エネルギー利用に配慮し、太陽光パネルを設置。

快適な
利用環境の実現



新規

生涯学習推進センターの駐車場拡張

74,739千円

生涯学習推進センターの慢性的な駐車場不足の解消

①情報センター、マナボーテ村上の利用が便利に
⇒生涯学習推進センターの隣地を取得し駐車場として整備。

②約50台の増設
⇒駐車台数を約50台程度の増設。

③スロープを付けて利便性に配慮
⇒マナボーテ村上へ行きやすい
ようにスロープを設置し、子ども連れ
や高齢者に配慮。



利便性の向上

新規

体育施設のリニューアルに向けて

26,730千円

安全で利用しやすいスポーツ施設整備の推進

①山北総合体育館の耐震補強等設計
⇒耐震診断結果を踏まえた耐震補強工事に併せ施設の
老朽化による改修工事や、
利便性の向上を図るため
一部リニューアルの
実施設計業務委託を行う。



山北総合体育館

安全性確保と
利便性の向上

6 簡素で効率の良い行政経営

市民ニーズに迅速かつ的確に対応でき、簡素で効率的な行政体制の確立を図るとともに、行政評価制度を有効に活用し、限られた財源の中で、市民にとって本当に必要な施策を着実に推進します。

- ◆ ふるさと村上応援寄附金(ふるさと納税) 31
- ◆ 市の発展や市民の豊かで安全な暮らしのために 31
- ◆ 地域の特性を生かした魅力あふれる圏域づくり 32
- ◆ 24時間市税等の納付ができる体制づくり 32

継続

ふるさと村上応援寄附金（ふるさと納税） 2,156千円

インターネットでふるさと納税を受け付け、
寄附者の利便性の向上を図る

①ふるさと納税サイト内に、ふるさと納税の申込フォームを設置
⇒ふるさと納税の申し込みをいつでもどこでも気軽に行うことが可能。

②クレジットカードによる寄附受付に対応
⇒インターネットによるワンストップサービスと24時間の寄附受入れを実現。

③ふるさと納税管理システムの利用
⇒寄附の申し込みからお礼品の発注まで一元管理し、お客様への対応をスピード化し、お礼品などの発注ミスを防止。

早く応援して
もらえる環境



ふるさと納税申込フォームのバナー

継続

市の発展や市民の豊かで安全な暮らしのために 12,583千円

市民一人ひとりが幸せを感じながら
暮らし続けることができるまちの実現

①平成29年度から始まる、第2次総合計画を策定中
⇒合併後、第2段階へステップアップするためのまちづくり計画。

②市民感覚と分かり易い計画書に
⇒村上市総合計画審議会において、市民感覚やニーズを取り込むよう努力し、市民にとって分かり易い計画を念頭に作成予定。

市政運営の
設計図づくり



審議会の様子

継続

地域の特性を生かした魅力あふれる圏域づくり 282 千円

関川村及び粟島浦村と定住自立圏を形成し、
共通する課題や事業に連携して取り組む

①村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会
⇒関川村及び粟島浦村として連携して行う事業等を協議。

②村上岩船定住自立圏共生ビジョンの新規事業を計画
⇒婚活事業、グリーン・ツーリズム及び
林業担い手育成の推進について新規で取り組む。
※事業費は、各担当課に計上。

効率的な
行政運営



村上岩船定住自立圏形成協定調印式

新規

24時間市税等の納付ができる体制づくり 2,809[※]千円

納税者がいつでも、どこでも市税を納付しやすい環境を整える

①市税等コンビニ納付の導入準備
⇒平成29年度からスタートする
市税等コンビニ納付に向けての
導入準備を行う。

利便性及び
収納率の向上

土・日・祝でも
早朝・夜間でも



※システム改修経費を除く
政策推進課(2-1-13庁舎情報システム管理管理経費)に計上。

7 市民と行政の協働による行政経営

地域が自らの地域を主体的に支え、行政と手を取り合い活動を推進していきけるような方策や取組への提案を行います。
また、地域に新たな風を吹き込む「地域おこし協力隊」についても導入拡大に取り組み、地域の活性化を図ります。

- ◆ 家族になりませんか村上で 34
- ◆ 田舎暮らしを応援します 34
- ◆ 市民協働のまちづくりを推進 35
- ◆ 若い力が都会(まち)から田舎(まち)へ 35

継続

家族になりませんか村上で

4,500千円

男女の出会いの場の提供や
結婚のための活動を支援してくれる団体等を支援

若者の
定住促進

- ①婚活支援事業交付金
⇒婚活イベントを企画実施する事業者への支援。
想定される対象事業
- ・未婚者の魅力向上事業
 - ・コミュニケーション能力向上事業
 - ・出会いの場提供事業
 - ・結婚支援事業
- ⇒交付金額
総事業費から参加費等の収入を控除した額とし、1事業当たり50万円を限度。



- ②婚活運営負担金
⇒婚活イベントを企画運営
(定住自立圏形成事業)。

継続

田舎暮らしを応援します

4,000千円

空き家バンク事業を利用して市外から移住する方を支援

移住しやすい
環境づくり

- ①空き家バンク移住応援補助金
⇒市内業者等が施工する改修工事で、生活するために必要な台所等の改修または耐震補強工事に要する経費などに対して補助金を交付。

- ②補助率
⇒補助金の交付額は单身、2世代、3世代以上と、構成する世代数によりそれぞれ補助率を規定。



拡 充

市民協働のまちづくりを推進

62,862 千円

各地域まちづくり組織が主体となった、
地域の資源を活用した特色ある元気づくりへの支援

①地域まちづくり交付金の交付
⇒17のまちづくり協議会に対して交付金を交付。

②地域人材育成
⇒まちづくりにおける次世代の担い手の発掘
及び育成のため、新たにファシリテーター養成
講座の開催。
⇒多種多様な市民活動や協働に関する
情報誌発行、活動記録の作成。

オンリーワンの
まちづくり

砂山地域(花いっぱい事業)



館腰地域(軽トラ市)



山辺里地域(体操事業)



拡 充

若い力が都会(まち)から田舎(まち)へ

15,563 千円

高齢化や人口減少が著しい地域に隊員を配置し、
住民とともに活動することで地域の活性化を図る

この地に新たな
風を吹き込む

①地域おこし協力隊の配置
⇒新たに下記の2地域に1名ずつ隊員を配置し、各地域で
想定されている地域おこし活動に従事する。

●朝日地区 塩野町地域
(塩野町、松岡、早稲田、原小須戸、本小須戸、荒沢、
大須戸、蒲萄の8集落)

●主な活動内容

農家民宿を拠点として、地域の資源を活用した地域活性化などに
取り組む。

○山北地区 中俣地域(中継、小俣、大代、雷、山熊田の5集落)

○主な活動内容

地域の生業などの資源を活用した地域活性化に取り組むとともに、
交流人口の拡大に向けた活動などを行う。



特別会計事業説明書・公営企業会計事業説明書

特別会計事業説明書

◆ 土地取得特別会計	．．．．．	37
◆ 情報通信事業特別会計	．．．．．	38
◆ 蒲萄スキ一場特別会計	．．．．．	39
◆ 国民健康保険特別会計	．．．．．	40
◆ 後期高齢者医療特別会計	．．．．．	41
◆ 介護保険特別会計	．．．．．	42
◆ 下水道事業特別会計	．．．．．	43
◆ 集落排水事業特別会計	．．．．．	44
◆ 簡易水道事業特別会計	．．．．．	45

公営企業会計事業説明

◆ 上水道事業会計	．．．．．	46
-----------	-------	----

特 別 会 計 事 業 説 明 書

課名： 財政課

【会計名】	土地取得特別会計			
【予算額】	60 千円			
【予算の概要】	<p>土地取得特別会計は、土地取得事業の円滑な執行と、その経費の適正を図るために一般会計と区分して経理。 平成28年度は、土地開発基金の運用収入に関する予算を計上。</p>			
【主な事業】	★は新規事業			
	<p>○土地開発基金運用収入である預金利子の積立 基金利子積立金の予算額は平成27年度の預金運用実績によるものであり、本年度は57千円を積立てるものです。</p> <p>○基金の状況</p>			
	年 度	項 目	金 額 円	備 考
	H26	年度末残高	324,974,280	
	H27	繰入予定額	56,903	預金利子
		年度末現在高見込額 (A)	325,031,183	
	H28	繰入予定額 (B)	57,000	預金利子
		年度末現在高見込額 (A)+(B)=(C)	325,088,183	
		(C)の 内訳	現金 貸付金	241,207,212 83,880,971

特別会計事業説明書

課名：政策推進課

【会計名】 情報通信事業特別会計

【予算額】

505,200 千円

【予算の概要】

主な内容としては、歳入では繰入金に422,078千円（前年度比56,628千円の増）を計上し、歳出では総務費に285,209千円（前年度比56,217千円の増）を計上した。歳入歳出とも、平成27年度に更新した山北地区告知システムに係る維持管理経費の通年予算計上が増の主な要因である。

なお、公債費は216,991千円（前年度比17千円の減）の計上で、ほぼ前年度並みである。

【主な事業】 ★は新規事業

○山北地区施設維持管理経費

山北地区における情報通信施設・設備を良好な状態で使用できるように維持管理し、告知放送サービス、IPテレビ電話サービス、テレビ再送信サービス及びIRUによる超高速インターネット接続サービスを提供する。

○朝日地区施設維持管理経費

朝日地区における情報通信施設・設備を良好な状態で使用できるように維持管理し、告知放送サービス、IPテレビ電話サービス、テレビ再送信サービス及びIRUによる超高速インターネット接続サービスを提供する。また、自主放送「あさひちゃんねる」では、地域に密着した放送局として村上市のトピックスや身近なニュース、市からのお知らせ等を中心とした番組を制作・放送するほか、NHK番組を借り入れして放送する。

○神林地区施設維持管理経費

神林地区における情報通信施設・設備を良好な状態で使用できるように維持管理し、告知放送サービス、IPテレビ電話サービス、テレビ再送信サービス及びIRUによる超高速インターネット接続サービスを提供する。



あさひちゃんねるスタジオ



告知端末機

特別会計事業説明書

課名：商工観光課

【会計名】 蒲萄スキー場特別会計

【予算額】

70,700 千円

【予算の概要】

一般経費では、安全対策連絡協議会委員報酬、各種研修会、協議会等の負担金を計上。

運営経費では、スキー場運営スタッフの経費、運営に関する需用費、各種管理委託料、借地料、工事請負費などを計上。

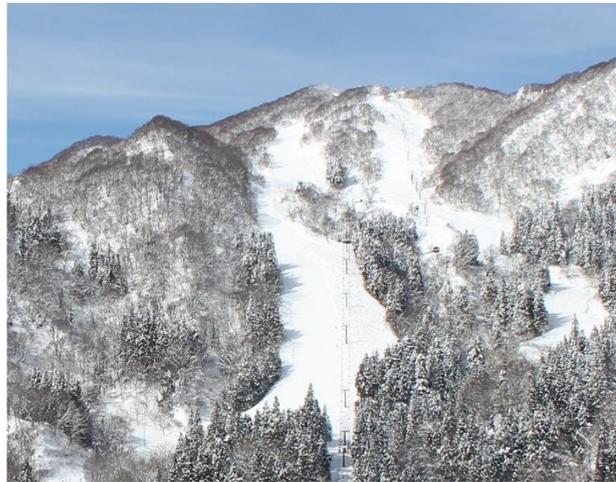
【主な事業】 ★は新規事業

○ 工事請負費

老朽化した第2リフト制御盤シーケンサの更新、索輪ゴムライナーの交換、握索機の交換などのリフト修繕工事、ゲレンデ地すべり防止工事等を実施する。

○ 運営計画（目標値）

- ・ 入場者数 10,000 人
- ・ スキー授業入場者数 2,500 人
- ・ 売り上げ目標 13,480 千円



BUDOH SKI AREA



村上市ぶどうスキー場 TEL.0264-73-0126
〒968-0201 新実保村上市番町338-1

村上市役所 商工観光課 TEL.0264-53-2111
〒968-0201 新実保村上市番町338-1

特別会計事業説明書

課名：保健医療課

【会計名】 国民健康保険特別会計

【予算額】

7,837,000 千円

【予算の概要】

国保税の増収が見込めない中、加入者の高齢化、高度医療の進展などにより、1人当たり医療費は増加傾向にあるため、財政運営は大変厳しい状況にあります。

財政運営においては、国保税及び国県補助金等の歳入確保に努めるとともに、データヘルス計画に基づき、特定保健指導事業、ジェネリック医薬品の利用促進、医療費分析による重症化予防事業を行うなど、保健事業の充実により医療費の適正化を図ります。

なお、不足する財源については給付準備基金を活用し、国保税率は据え置きます。

【主な事業】 ★は新規事業

○特定健診・特定保健指導事業

生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、特定健診・特定保健指導事業を実施。



特定健診の様子

○人間ドック健診事業

疾病の予防、早期発見及び早期治療を目的として、人間ドック健診を健診機関に委託実施する。

○湯っくり・湯ったり事業

身体機能回復、健康増進を目的に温泉入浴助成事業を各事業者に委託実施する。

○医療費分析・重症化予防事業★

レセプトや健診情報等のデータ分析により、治療中断者や健診異常値の放置者に対して医療機関への受診勧奨を行うなど、重症化予防事業を実施。

○保健指導事業

生活習慣病予備群等を対象に発症予防のための教室を実施。

○インフルエンザ予防接種助成

高校生までの子どもに対してインフルエンザ予防接種助成を行い、罹患及び重症化の予防を行う。

○医療費及びジェネリック医薬品差額通知

医療費及びジェネリック医薬品差額のお知らせを発送し、ジェネリック医薬品の利用促進と医療費節減を図る。



特別会計事業説明書

課名：保健医療課

【会計名】 後期高齢者医療特別会計

【予算額】

618,000 千円

【予算の概要】

歳入では後期高齢者医療保険料が約7割、一般会計からの繰入金（保険基盤安定分・職員給与分等）が約3割を占め、このうち保険料と保険基盤安定分の繰入金については、保険者である後期高齢者医療広域連合に納付金として支出。

また、継続的に保健事業を実施することにより、医療費の適正化を図る。

【主な事業】 ★は新規事業

○湯っくり・湯ったり事業

身体機能回復、健康増進を目的に温泉活用健康事業を各事業者に委託実施する。



特別会計事業説明書

課名：介護高齢課

【会計名】 介護保険特別会計

【予算額】

7,478,000 千円

【予算の概要】

歳入は、各々の負担割合に従い計上。

保険給付費については、介護保険受給者数の増加及び要介護状態区分の重度化を推計し、前年度比2.8%増。

地域支援事業は、平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするため、市が中心となって介護だけでなく、医療や予防、生活支援、住まいを包括的に提供する地域包括ケアシステムを構築するための予算を計上し、前年度比62.6%増。

【主な事業】 ★は新規事業

○保険給付費

利用者の増加と要介護状態区分の重度化を考慮し、平成27年度に対し2.8%増

○介護予防・生活支援サービス事業★

要支援・要介護状態に陥るリスクが高い高齢者を早期発見し、早期に対応することにより状態を改善し、要支援状態となることを遅らせることを目的に、予防教室等を各事業所等に委託。

新たに元気応援訪問サービス事業と元気応援通所サービス事業を実施。

○一般介護予防事業★

全ての高齢者を対象とした事業。住み慣れた地域において「生活支援」や「通いの場」の拠点づくりを進める。週1、2回高齢者が1日過ごし介護予防を行う「通いの場」を2集落に設置。

また、居宅や介護サービス事業所にリハビリテーション専門職を派遣し、高齢者の日常生活機能維持・向上を促進。



○在宅医療・介護連携推進事業★

自宅で安心して暮らせるよう、対象者の必要な情報を医療と介護に携わる関係者で共有するコンピュータネットワーク「ときネット」を利用し、在宅医療・介護を支援。

○認知症総合支援事業★

認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員等の設置に向けた検討会議や、認知症サポート医及び認知症地域支援推進員を育成。

○認知症対応型共同生活介護家賃等助成事業★

認知症高齢者グループホーム入居者の所得に応じ、家賃、食費、光熱水費の一部を助成。



特別会計事業説明書

課名：下水道課

【会計名】 下水道事業特別会計

【予算額】

5,333,000 千円

【予算の概要】

主な歳入は、使用料及び手数料651,883千円、国庫支出金661,000千円、一般会計繰入金1,930,513千円、市債1,959,300千円を計上。

主な歳出は、下水道管理費765,006千円、下水道建設費1,712,686千円、公債費2,852,808千円を計上。

【主な事業】 ★は新規事業

- 公共下水道事業総務管理経費
下水道使用料の出納業務委託等、下水道事業に係る総務管理経費。
- 下水道事業排水設備整備資金預託金
排水設備の設置にあたり自己資金の不足するものに対して資金の貸付を促進するため、その原資を預託。
- 地方公営企業法適用化事業経費★
地方公営企業法を適用する必要があるため、公営企業会計移行に向けた作業に着手する。
- 公共下水道事業施設維持管理経費
下水道施設（処理場、マンホールポンプ等）の維持管理経費。
- 公共下水道建設経費
村上地区において、約5.6キロメートルの管渠布設工事を実施し、33ヘクタールの処理区域を拡大して、未整備区域の早期解消に努める。
- 公共下水道改築更新経費
瀬波第2中継ポンプ場の再構築工事に着手するとともに、瀬波1号幹線圧送管の改築工事を引き続き実施し、村上浄化センターの長寿命化計画の策定を行う。



村上浄化センター

特別会計事業説明書

課名：下水道課

【会計名】 集落排水事業特別会計

【予算額】

1,124,000 千円

【予算の概要】

主な歳入は、使用料及び手数料175,218千円、県支出金44,511千円、一般会計繰入金570,217千円、市債314,900千円を計上。

主な歳出は、集落排水管理費266,264千円、集落排水建設費36,553千円、公債費818,683千円を計上。

【主な事業】 ★は新規事業

- 農業集落排水事業総務管理経費
集落排水施設使用料の出納業務委託等、集落排水事業に係る総務管理経費。
- 集落排水事業排水設備整備資金預託金
排水設備の設置にあたり自己資金の不足するものに対して資金の貸付を促進するため、その原資を預託。
- 地方公営企業法適用化事業経費★
地方公営企業法を適用する必要があるため、公営企業会計移行に向けた作業に着手する。
- 農業集落排水事業施設維持管理経費
農業集落排水施設（処理場、マンホールポンプ等）の維持管理経費。
- 農業集落排水建設事業経費
瀬波地区（滝の前）の舗装復旧工事を実施。
- 集落排水改築更新経費
越沢地区集排施設機能強化実施設計業務と中浜地区集排施設機能診断業務を実施。



越沢処理区農業集落排水処理施設



中浜処理区農業集落排水処理施設

特別会計事業説明書

課名： 水道局

【会計名】 簡易水道事業特別会計

【予算額】

828,000 千円

【予算の概要】

主な歳入は、使用料及び手数料179,024千円、国庫支出金89,652千円、繰入金200,375千円、市債341,200千円を計上。

主な歳出は、施設費で施設建設費454,346千円、公債費223,464千円を計上。

【主な事業】 ★は新規事業

○ 南大平・指合・河内簡易水道統合整備事業

南大平・指合地区、河内地区両簡易水道とも水源が表流水であるため、降雨時に濁度が上昇することがあり、また、水源までの道路が冬期間除雪されない等、将来的な維持管理に問題があること等から、安定した水質と水量の確保を図るため、上水道区域への統合を計画。

○ 地方公営企業法適用化事業★

総務省の要請により、簡易水道については、平成32年度予算から地方公営企業法の適用へ移行することが示されたことにより、法適用化に必要な資産台帳整備、企業会計システム改修、例規整備、職員研修等を計画。



蒲萄送水ポンプ場(大行地内)

公 営 企 業 会 計 事 業 説 明 書

課名： 水道局

【会計名】 上水道事業会計

【収益的収入予算額】

1,140,566 千円

【資本的収入予算額】

194,809 千円

【収益的支出予算額】

1,055,995 千円

【資本的支出予算額】

854,375 千円

【予算の概要】

収益収支予算では、事業収入を1,140,566千円、事業費用を1,055,995千円とし、税込み利益は、84,571千円を見込む。

資本的収支予算では、資本的収入を194,809千円、資本的支出を854,375千円とし、収支差引不足額659,566千円は、「当年度消費税等資本的収支調整額38,065千円」、「当年度損益勘定留保資金407,975千円」、「減債積立金100,000千円」、「建設改良積立金113,526千円」で補てん。

【主な事業】 ★は新規事業

○ 村上地区第4次拡張計画事業

村上地区の第4次拡張計画事業では、水源の濁水や災害等の状況下においても安定した給水が行えることを目的として、水源の分散化、配水池の移転新設等を計画。

○ 荒川地区第3次拡張計画事業

荒川地区の第3次拡張計画事業では、老朽化した施設の更新を進めるとともに、水源の増設、浄水池の築造、配水池の新設等を行い、安定した給水体制並びに災害に強い施設の整備を計画。



荒川第1・第2配水池(荒島地内)